

# 白内障手術について

## ●白内障とは

白内障とは、眼の中にある水晶体が濁った状態で、進むと霞がかかったようになり矯正しても視力が出にくい状態になります。点眼薬もあるのですが治すためのものではなく進行を抑える効果しかなく、見えるようにするためには手術をして人工のレンズを入れるしかありません。

要因としては様々ですが、多くは加齢性のもので、他には外傷性・先天性・糖尿病・アトピー・薬の副作用・紫外線・放射線・ブドウ膜炎などが考えられます。

## ●白内障手術

眼球の働きや構造はしばしばカメラにたとえられます。

ピントを合わせるレンズの役割をする水晶体。

フィルムの働きをする網膜。

光を絞って瞳孔を広げたり狭めたりする虹彩など。

この水晶体が濁り視力が低下したり霞んで見えるのが白内障であり、白内障の手術ではこの濁った水晶体を削って取り除き、代わりに人工の眼内レンズを挿入します。

網膜や視神経などの眼底やほかの器官や、その働きに異常がなければ白内障の手術をすることで視力の回復が期待できます。

しかし他の器官やその働きに異常がある場合、たとえ白内障の手術が適切にうまく行われたとしても視力は回復しません。

また水晶体の濁りがひどく、眼底の異常が手術前に検出されない場合もあります。

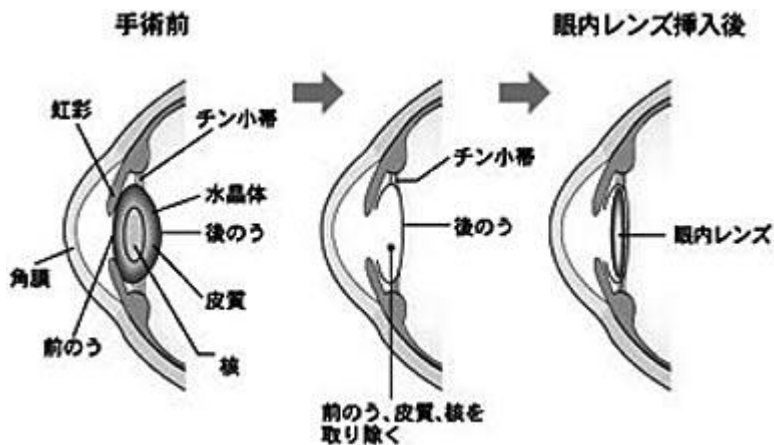
現在の日本で多く行われている白内障手術は、水晶体の中心の核と呼ばれる部分とその周囲の部分を超音波で碎きながら吸引し、水晶体の外側の嚢（のう）とよばれる膜の中に抽出した水晶体の代わりになる人口の眼内レンズを挿入する方法です。

## ●手術の前に

白内障手術をされる方には、必ず術前に検査をさせていただきます。

視力検査、眼内に挿入するレンズの度数を決める検査、眼底に異常がないかの検査です。

さらには看護師からの詳しいお話・説明や血液検査などもございますので、お時間がかか



ります。瞳を散瞳もしますので、できましたら検査の後に運転などは控えて頂くことをお勧めします。

## ●注意点

白内障の手術は必要となってからする手術です。緊急という訳ではありません。手術が成功し、眼底など他の器官に異常がなければ視力がほとんどの例で良くなります。ただ、裸眼で全てすっきり見えるという方だけでなく眼鏡で矯正すると良くなるという方もいらっしゃいます。白内障ですと眼の中のレンズが曇った状態ですので、眼鏡をかけてよく見えるようになったとおっしゃる方もいらっしゃいます。どれくらいの視力になるかを事前にはっきりと予測することは困難です。

多くの方は、遠くのものが見えるように眼内の「レンズ」の度数を決定します。遠くの方へ合わせた方は近くを見るときは必ず老眼鏡が必要になります。若いころのように遠くも近くも見えるものでは決してありません。

手術後に色が青白く見えたり視野周辺に光の帯が見えたり、ライトの光がチカチカと見えることもあります。これらは白内障の状態から眼内レンズに変わることによって起こるもので心配ありません。時間の経過とともに気にならなくなる方が多いようです。眼の充血なども、1、2週間程度で引いてきますので、そこまで心配はいらないでしょう。

術後の入浴ですが、翌日まで入浴洗眼はお控えください。

翌日の術後健診以降は首から下の入浴はして頂いて大丈夫です。洗髪をどうしてもしたいという方は美容院などで洗ってもらうか、顔を濡らさないように誰かに洗ってもらうようお願い致します。

